

施策分析シート（令和元年度）

No1

施策名	高齢者の在宅生活の支援	施策No	02-03	部課名	福祉部高齢者福祉課
				課長名	堀 内線 2660
関連部課名	福祉部介護保険課				
行政評価事業体系	分野	I	生涯健康都市		
	政策	02	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成		

目的 高齢者が住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けることができるよう、介護保険サービス以外にも、高齢者の在宅生活を支援する多種多様なサービスを提供していく。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		28年度	29年度	30年度	
①	福祉の充実度	3.05	3.08	3.05	お住まいの地域では、高齢者や障がい者への福祉が充実していると感じますか？
②					
③					
④					

  

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		28年度	29年度	30年度	元年度見込み	目標値(8年度)	
①	見守り名簿登録割合(75歳以上のうち登録者が占める割合)	20.04	20.70	19.57	19.79	21.50	
②	高齢者みまもりネットワーク事業登録者数(人)	4,964	5,037	5,071	5,180	5250	
③	緊急通報システム設置台数(台)	1,004	1,050	1,104	1,160	1,250	
④	高齢者入浴事業利用率(%)	22.96	23.15	23.34	24.43	25.00	利用者数/70歳以上高齢者人口
⑤	総合相談窓口相談件数(件)	9,486	8,998	9,520	9,700	10,000	おとしよりなんでも相談

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目		
	29年度	30年度	差額		29年度	30年度	差額
	給与関係費	61,670	70,924	9,254	地方税	0	0
	物件費	210,174	267,100	56,926	国庫支出金	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	78,114	83,822
	扶助費	101,401	103,587	2,186	分担金及び負担金	473	235
	補助費等	6,687	41,469	34,782	使用料及び手数料	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	1,184	1,117
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	79,771	85,174
	賞与・退職給与引当金繰入額	9,773	4,022	▲ 5,751	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 309,934	▲ 401,928
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0
	行政費用合計(b)	389,705	487,102	97,397	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 309,934	▲ 401,928
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	66	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	66	0	▲ 66	当期収支差額(e)+(h)	▲ 309,868	▲ 401,928

貸借対照表	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	29年度	30年度	差額		29年度	30年度	差額
流動資産	収入未済	753	882	129	流動負債	2,285	2,736
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0
	その他の流動資産	▲ 6,209	▲ 41,478	▲ 35,269	特別区債	0	0
固定資産	有形固定資産	0	0	0	賞与引当金	2,285	2,736
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	20,639	22,964
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	20,639	22,964
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	22,924	25,700
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 28,380	▲ 66,296	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 28,380	▲ 66,296	
資産の部合計	▲ 5,456	▲ 40,596	▲ 35,140	負債及び正味財産の部合計	▲ 5,456	▲ 40,596	

財務諸表に関する特徴的事項等

- 行政費用として物件費が一番多く計上されており、そのうち約90%が委託料である。
- 委託料のうち37%を、高齢者みまもりステーション運営事業の委託料が占めている。
- 扶助費のうち97%は高齢者紙おむつ購入助成事業に係る費用であり、29年度と比較して約2%増加している主な要因は、おむつ購入助成事業利用者数の増加である。
- 行政収入の「その他」には主に、高齢者虐待対策事業利用者負担金が計上されている。

## 施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○人口ビジョンでは、団塊の世代が75歳を迎える平成37年（2025年）には、高齢者人口はやや減少傾向となるものの、後期高齢者が大幅に増加し、医療・介護サービスが必要となる方の増加が見込まれている。</p> <p>○日常生活圏域ニーズ調査結果では、介護が必要になったら介護サービスを利用しながら、できるだけ自宅で暮らすことを望む高齢者が多かった。</p> <p>○都監察医務院の統計によると区内では毎年約100人の単身高齢者が自宅で亡くなっている。</p> <p>○平成30年度「みまもりネットワーク事業」の名簿登録者は5,071人となっており、区内に住む75歳以上のうち登録者が占める割合は約20%である。</p>
課題	<p>○後期高齢者の増加に対応するためには、区や介護サービス事業者だけでなく、区民や企業、地域で活動する団体等、地域で高齢者を支える担い手を増やしていくことが求められる。</p> <p>○地域の人材をはじめ様々な資源を活用し、高齢者の在宅生活を支えるための支援を充実していく必要がある。</p> <p>○高齢者の孤立を防止するため、地域での見守りの重要性について認識を深めていくとともに、「みまもりネットワーク事業」をはじめ地域における見守りの体制を充実していく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○これまで「支えられる側」と考えられてきた高齢者に、それぞれの状況に応じて、「支える側」として役割を担ってもらう仕組みづくりを行う。</p> <p>○区民相互の助け合いをベースとした地域力の向上を図り、区民をはじめ企業や団体等による生活支援サービスの充実など、地域全体で高齢者を支えていく体制を構築する。</p> <p>○「みまもりネットワーク事業」の一層の充実を図るとともに、名簿登録者を増やすための周知活動を行い、勧奨していく。あわせて、民間事業者を含め地域の力を活用して、様々な見守りのツールを増やしていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
元年度	2年度	
重点的に推進	重点的に推進	高齢者の多様化するニーズに対応し、高齢者が住み慣れた地域で安全に安心して住み続けられるよう地域全体で支える仕組みを充実させ支援するために、重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		29年度	30年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
理美容サービス事業	08-03-06	1,571	1,207	1,390	1,032	継続	継続	必要とする高齢者が事業を活用できるように利用者の利便性を高め、引き続き実施していく。
高齢者紙おむつ購入助成事業	08-03-07	104,143	105,400	99,027	100,950	継続	継続	高齢者・介護者の経済的負担軽減の為に引き続き支援していく。
特別永住者等福祉給付金	08-03-08	1,112	959	900	780	継続	継続	無年金外国人の健全な生活の維持及び向上のため、引き続き実施する。
寝たきり高齢者寝具水洗乾燥消毒事業	08-03-09	389	549	389	374	継続	継続	在宅生活における環境衛生及び健康保持のため、引き続き実施する。
高齢者入浴事業	08-03-10	53,582	53,610	53,582	53,435	継続	継続	高齢者の健康の保持・増進を図り、あわせて地域におけるふれあい・交流の創出とともに公衆浴場の利用を促進する観点から引き続き実施する。
緊急通報システム事業	08-03-11	28,988	33,180	26,551	29,073	推進	推進	在宅高齢者の安全安心のために必要であり、見守りを強化するために、利用者の拡大を図る。
高齢者配食見守りサービス事業	08-03-12	21,233	22,539	16,720	17,296	継続	継続	高齢者の見守り及び低栄養状態予防のひとつの手段として、引き続き利用者の拡大を図る。
交通安全杖支給事業	08-03-13	803	736	378	378	継続	継続	年間約150人の利用があり、高齢者が安全に外出できるよう支援するために今後も継続していく。
在宅介護者マッサージ事業	08-03-14	820	1,154	820	979	継続	継続	介護者の慰労及び心身のリフレッシュを図る一助になっており引き続き実施する。
高齢者みまもりステーション運営事業	08-03-15	82,310	116,409	78,971	112,476	重点的に推進	重点的に推進	高齢者の安否確認、実態把握を行うとともに、地域で高齢者を見守る拠点となるように各関係機関との連携を図るなど引き続き重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		29年度	30年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
高齢者みまもりネットワーク事業	08-03-16	13,245	17,557	7,650	15,547	重点的に推進	重点的に推進	新規登録者を増やすため、事業の周知を行っていくなど引き続き重点的に推進する。
敬老週間事業（長寿慶祝の会）	08-03-17	26,934	39,494	20,165	30,319	継続	継続	長寿慶祝の会について、関係機関と連携し、安全な会の運営を図る。敬老祝品の贈呈については高齢者の長寿を祝う事業として、引き続き実施する。
避難行動要支援者事業	08-03-18	0	4,874	—	941	推進	推進	対象者の拡充など、より実効性のある避難支援体制の構築を推進していく。
高齢者自立支援用具給付事業	08-03-19	0	0	—	—	重点的に推進	重点的に推進	事業実施の一連の流れを構築し、また、本事業の給付を必要とする方の申請に繋がるよう事業周知を行い、重点的に推進する。
おとしよりなんでも相談窓口	08-03-20	11,462	9,667	—	—	継続	継続	高齢者に関するあらゆる相談窓口として継続していく。
介護サービス事業（措置分）	08-03-24	6,145	5,255	1,659	325	継続	継続	法定措置事務として、必要とする高齢者に適切に措置していく。
高齢者生活管理指導事業	08-03-25	4,626	4,547	321	256	継続	継続	生活支援の要請は多くなっていることから、引き続き実施する。
緊急事務管理事業	08-03-26	7,997	7,418	2,662	2,662	継続	継続	後見制度を利用するまでの間、適切に高齢者の生活を支援するために必要であり、引き続き実施していく。
高齢者虐待対策事業	08-03-27	10,498	10,623	5,375	5,080	継続	継続	高齢者の虐待防止のために、早期発見及び相談・支援の充実を図る。
成年後見事業	08-03-28	7,318	7,830	1,558	2,382	推進	推進	社会福祉協議会と連携を図り、円滑かつ迅速な制度運営を図る。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のた めの分類		分類についての説明・意見等
		29年度	30年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
生活支援体制整備事業	08-03-44	6,531	44,095	3,075	40,794	推進	推進	地域包括ケアシステムの構築を目指し、在宅を支える生活支援体制の整備が必要である。
合 計		389,707	487,103	321,193	415,079			